

令和4年度

千代田区教育会理科部 研究経過

【研究主題】 明確な根拠をもち、予想や仮説を設定する力を育成する指導の工夫

千代田区小学校理科部会では「明確な根拠」を、「理科の見方・考え方を働かせながら生活経験や既習事項と関連付けて考えたこと」と捉え、予想と合わせて設定する力を育成することを目指す。「明確な根拠」をもつことがなぜ必要なのか。理科の見方・考え方を働かせながら生活経験や既習事項と関連づけて問題の解決について考えることによって、観察、実験などの解決方法を発想することにつながる。このことにより、観察、実験が児童の主体的な問題解決の活動となると考える。

<研究経過・予定>

○授業研究

・千代田区立九段小学校 高儀恵美主任教諭 第6学年「植物のからだのはたらき」

問題設定の工夫、日々の活動の積み重ねを大切に、授業提案を行った。

・千代田区立千代田小学校 山口真一教諭 第5学年「物の溶け方」

ICTの活用、根拠を明確にした予想を書くことを大切に、授業提案を行った。

・千代田区立富士見小学校 岩崎泰久指導教諭 第4学年「ものの温度と体積」

今年度の研究の成果を一般化し、千代田区内の先生方へ理科教育について紹介する。

○年間講師

大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 石井雅幸 先生

文責 千代田区立富士見小学校 指導教諭 岩崎泰久